

懐かしい皆さまに会えて

—喜寿記念同期会に参加して—

滝川（宮原）幸子（8組）

これまで、関東同窓会や8組の同級会には参加したことはありましたが、上田で同期会に参加するのは初めてでした。何十年ぶりかでお会いする方もいて、高校時代を懐かしく思い出しました。当時は、各クラスに女子は4～5人でした。8組の女子は4人。体育の授業で、サッカーなどの時は、女子は危ないから一緒にはできないと言われ、「卓球でもしていなさい」という事で、4人で卓球をしていたことが記憶に残っています。

また、松尾祭の時には、当時の女子高の染谷が丘高校から女子生徒が大勢参加していました。フォークダンスをやる時は、みんな、染谷が丘高校生とペアを組みたがり、「女子はここにもいるのにね」と4人でブツブツ言っていたことが思い出されます。今や、上田高校も染谷が丘高校も男女同数か女子の方が少し多いくらいと聞きます。卒業以来59年の月日の流れを感じます。

日本もようやく男女平等、男女差別の撤廃などの推進が叫ばれていますが、まだまだ先進国の中では最下位の方です。上田高校後輩の女子の皆さんがこれから大いに力を発揮して下さることを期待しています。

今回の同期会、8組の出席は青松さん、荻野さん、荻原さん、斎藤さん、高見澤さん、森垣さん、そして女子は漆原さんと筆者の2人だけだったので、事前に連絡を取り合って4人揃って出席できるようにすればよかったかな、と反省しています。もしかすると、もう4人が顔を合わせるという事はこれから先無いかもしれないので。

今回の全体の出席者は98名。皆さん好々爺（婆）となられて、すぐにはわかりませんでした。昔の面影は残っていて、懐かしく感じました。

「秋玲瓏の空衝きて…」と校歌をみんなで歌いましたが、野球の試合の応援に行き、応援団の指揮に合わせて、声を枯らして歌ったことが思い出されます。

今回一番うれしかったことは、放送部で一緒だった春日山（旧姓清水、4組）さんに会えたことです。年賀状のやりとりはしていて、私が上田へ帰ったときは会いましょうと言いつつ、実現できていなかったのです。会の後半で清水さんと分かった時は、思わず歓声を上げてしまいました。

このように盛大な同期会を企画・開催して下さった幹事の皆さんにお礼を申し上げます。写真撮影、会計報告等きめ細かく段取りしていただき、本当にありがとうございました。

そして、65期の中ですでに亡くなられた方もいらっしゃいます。ご冥福をお祈りいたします。

今や、人生百年の時代と言われていています。65 期の皆さん、不確かな時代ですが、これ
からも元気で希望をもって生き抜いていきましょう！！



8 組が登壇、左から荻原、漆原、筆者（滝川）、斎藤、高見澤、森垣、荻野、青松

(2025 年 8 月 3 日 記)

以上